

令和6年度

事業報告書

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティ

1 事業の成果

(1) 心理社会的支援活動事業

(ア) サポート事業

同じような境遇にあるがん患者同士が出会い、語り合うことで不安や悩みを解消したり、“自分らしい”生き方を取り戻すことを目的として、男女区別なくがんが発症した患者のためのサポートグループや乳腺・子宮・卵巣といった女性特有の部位にがんが発症した患者のための女性サポートグループ、再発や転移を経験した患者のためのサポートグループ、さらに近年話題となっている就労しているがん患者を対象としたサポートグループを編成、さらに出張サポートグループとして柏市の協賛を得た柏サポートグループと大阪マラソンの寄附金による大阪サポートグループを企画し、看護師、社会福祉士及び臨床心理士といった専門家によってファシリテートされるグループ療法を提供した。各グループは月1～2回、年間129(昨年度比-20)回開催し、延べ587(昨年度比-63)人ものがん患者及び家族に対しグループ療法を提供した。このほか、Zoomを活用した「オンラインサポートグループ」を毎月2回、年間19(昨年度比-1)回開催し、延べ33(昨年度比-17)人に提供した。

(イ) 第5回とわの会：令和6年10月21日(土)に事務所において、サポート事業に参加し、その後亡くなった患者の遺族に対するプログラムとして、第5回とわの会を開催し、3人が参加した。

(ウ) 就労相談事業

がん治療と就労の両立に向けたがん患者向けの就労支援として令和5年度より開催している。対面／オンラインで4回の相談にあたった。

(エ) 医療相談事業

外科および緩和ケアを専門とする医師2人による医療相談を毎週水曜日に開催し、がん患者及び家族5人に対して対面／電話でアドバイスを行った。

(2) 技術的支援活動事業

(ア) リラクゼーション事業

がん患者及び家族を対象として、①ヨガ講座を月2回、計15(昨年度比-6)回開催、延べ108(昨年度比-38)人が参加、②アロマセラピー講座を月1回、計9回開催、延べ22(昨年度比-9)人が参加、③自律訓練法講座を月2回、計9(昨年度比+5)回開催、延べ10(昨年度比+5)人が参加、④コーラス講座(合唱団いきのちから)を月2回、計24回開催、延べ333(昨年度比-1)人が参加、⑤令和5年度から新たに体操講座を年4(昨年度比+2)回開催、延べ13人が参加、5種の講座合計61(昨年度比+1)回開催、延べ486(昨年度比-43)人のがん患者及び家族に対し提供した。

(3) 普及啓発活動事業

(ア) ジャパンキャンサーサバイバーズデイ2024

日本対がん協会が主催し、がん患者・家族のために支援情報を提供するイベント「ジャパンキャンサーサバイバーズデイ2024（令和6年6月2日（日）、於：国立がんセンター築地キャンパス）」

にブース出展し、広く市民に対するがん啓発を行った。

(イ) 令和 6 年度豊島区がん対策推進特別講演会&合唱団いきのちからコンサート 2024

豊島区と共催し、がん患者及び家族、市民に対し、がんに関する意識・知識の向上を目的とした豊島区主催の「令和 6 年度豊島区がん対策推進特別講演会」とがんサポートコミュニティー主催の「がん患者が歌う合唱団いきのちからコンサート 2024」をジョイントさせ、令和 6 年 12 月 16 日(月)にとしま区民ホール小ホール(東京)にて池袋保健所の指導のもと感染症対策を講じて開催、117(昨年度比+17)人が参加した。令和 6 年度豊島区がん対策推進特別講演会では講師の大井賢一に「死について語ろう、より良く生きるために」をテーマに人生会議(ACP)普及を目的に講演した。合唱団いきのちからコンサート 2024 ではがん体験者がソプラノ/アルト/テノール/バスに分かれ、ふめさとの四季/信仰/みんなで歌おうクリスマスソング(来場者と共に合唱体験)/大地讃頌の全 4 曲を合唱した。

(エ) 教育研修事業

将来、サポート事業ならびに地域におけるサポート活動を担う人材育成のために、「ファシリテーター研修プログラム」を開発し、エーザイ株式会社との共催により令和 6 年 10 月 19 日(土)に L stay & grow 南砂町(東京)で実施され、11(昨年度比-13)人が参加した。

(オ) 大阪マラソン

ランナーがそれぞれ選択したテーマに寄付するチャリティマラソンとして令和 6 年 2 月 25 日(日)に大阪マラソン 2025 として開催され、チャリティランナー 11 人が参加した。2 月 23 日(金)～24 日(土)にインテックス大阪で開催された EXPO2025 では、ランナー 3 万 8,000 人、一般来場者 1 万人、計 4 万 8,000 人に対して「がんにならない、がんになっても自分らしく生きる社会」をめざした、がん検診受診と大阪サポートグループの認知向上の普及啓発活動を実施した。

(カ) 説明会

がん患者及び家族に対して、がんサポートコミュニティーの活動事業を紹介するために毎週金曜日に開催した。19(昨年度比 0)回開催し、24(昨年度比 0)組が参加した。

(キ) ホームページ・SNS によるイベント等告知・活動報告

がん患者及び家族、市民に対して、がんサポートコミュニティーの活動事業を紹介するために、ホームページ・SNS を活用したイベント告知・活動報告を行った(ホームページにおけるお知らせ掲載回数：年 61 回)。

(4) 調査研究及び情報交換事業

(ア) 患者・市民参画：がんを正しく知り、がん対策を学ぶ研修 2024

日本対がん協会との共催、厚生労働省・東京都の後援で、患者・市民参画に資する人材を育成するための研修「がんを正しく知り、がん対策を学ぶ研修 2024(令和 6 年 10 月 19 日(土)～20 日(日)、於：L stay & grow 南砂町)」を開催した。がん患者・支援者・医療者・市民などに広く参加を募り、がん患者向けの食事、治療と仕事、治療とお金、緩和ケア、薬物療法、リハビリ、ピアサポート、第 4 期がん対策推進基本計画など、さまざまな角度で 14 の講座を提供し、223(昨年度比+65)人が参加した。なお、がん対策における患者・市民参画の導入に大きく貢献したとして、令和 6 年 12 月 19 日(木)第 76 回保健文化賞受賞を受賞、厚生労働大臣表彰され、翌 20 日(金)に皇居・御所にて天皇・皇后両陛下に拝謁した。

(イ) 医療情報提供

国立がん研究センター研究開発費「がんサバイバーシップガイドラインの提言と普及・利活用に関する研究」班（班長：小川朝生）に大井賢一が関り、がんサバイバーシップに関するがん患者・市民およびかかりつけ医を対象とした医療情報の提供に関する研究に従事した。毎週金曜日 10 時～10 時 30 分に Teams による関係者との情報交換を行った。

(ウ) 革新的医療

核医学診療推進国民会議に大井賢一が副会長として関り、「がんを正しく知り、がん対策を学ぶ研修 2024」では同会議会長を務める絹谷清剛（金沢大学教授）を講師の一人として招聘し、核医学診療の患者・市民啓発に寄与した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 27,204 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
心理社会的支援活動事業	サポート事業：患者及び家族に対して部位別・状況別の各種サポートグループを実施。	日曜祝祭日を除く毎日	事務所	11 人	がん患者・家族	661 人	12,111
	サポート事業：Zoom を活用した「オンラインサポートグループ」を実施。	毎月 1 回	事務所	6 人	がん患者	33 人	
	患者交流事業：がん患者の遺族と交流する「とわの会」を実施。	令和 6 年 10 月 5 日	事務所	6 人	遺族	3 人	
	就労相談事業：患者に対し両立支援を目的にキャリアコンサルタントによる就労相談を希望に応じて対面／電話で実施。	随時	事務所	1 人	がん患者	4 人	
	医療相談事業：患者及び家族に対し複数の医師による医療相談を希望に応じて対面／電話で実施。	原則として水曜日	事務所	2 人	がん患者・家族	5 人	
技術的支援活動事業	リラクゼーション事業：患者及び家族に対するヨーガの指導を実施。	原則第 1・3 木曜日	事務所	1 人	がん患者・家族、市民	108 人	2,867
	リラクゼーション事業：患者及び家族に対するアロマセラピーの指導を実施。	原則第 3 金曜日	事務所	1 人	がん患者・家族、市民	22 人	

技術的 支援活動事業	リラクゼーション事業:患者及び家族に対する自律訓練法の指導を実施。	原則 第1・2 火曜日	事務所	1人	がん患者 ・家族、 市民	10人	
	リラクゼーション事業:患者及び家族に対するコースの指導を実施。	原則 第1・3 月曜日	巢鴨地域文化創造館	4人	がん患者 ・家族	333人	
	リラクゼーション事業:患者及び家族に対する体操の指導の実施。	随時	事務所	1人	がん患者 ・家族、 市民	13人	
普及啓発 活動事業	広く市民に対するがん啓発を目的とした「ジャパン・キャンサー・サバイバーズ・デイ 2024」に参画。	令和6年 6月2日	国立がんセンター築地キャンパス	6人	がん患者 ・家族、 市民	376人 (来場者)	5,180
	広く市民に対するがん啓発を目的とした令和6年度豊島区がん対策推進特別講演会&がん体験者が歌う合唱団いきのちからコンサート2024に参画。	令和6年 12月16日	南大塚ホール	8人	がん患者 ・家族、 市民	117人	
	関東圏の専門家を対象に後進の育成を目的とした「ファシリテーター研修」を実施。	令和6年 10月19日	Lstay & grow 南砂町	5人	関東圏の がん専門 相談員	11人	
	広く市民に対するがん啓発を目的とした「大阪マラソン EXPO」に参画。	令和7年 2月23日 ~24日	インテックス 大阪	0人	市民	48,000人 (来場者)	
	がん患者及び家族に対して活動紹介を目的とした「説明会」を開催。	原則として 金曜日	事務所	4人	がん患者 ・家族	24人	
	YouTubeチャンネル運営	随時	事務所	3人	がん患者 ・家族、 市民	500人	
	ホームページ・SNS運営	随時	事務所	3人	がん患者 ・家族、 市民	10,000人	
	機関紙「News Letter」の発行。	随時	事務所	10人	がん患者 ・家族、 市民	300人	
	広く市民に対するがん啓発を目的とした「がん患者支援アプリ CAN.」を開発、運営。	随時	事務所	3人	がん患者 ・家族、 市民	1,000人	

普及啓発活動事業	活動報告のための年次報告書の送付。	令和7年 3月	事務所	2人	賛助会員	90人	
調査研究及び情報交換事業	患者・市民参画に資する人材育成のための「がんを正しく知り、がん対策を学ぶ研修2024」を開催。	令和6年 10月19日 ~20日	Lstay&grow 南砂町	15人	がん患者 ・家族、 市民	223人	7,046
	国立がん研究センター研究開発費「がんサバイバーシップガイドラインの提言と普及・利活用に関する研究」班に参画。	通年	オンライン	2人	がん患者 ・家族、 市民	100万人	
	革新的医療における核医学診療の普及啓発のため核医学診療推進国民会議での情報交換に参画。	通年	オンライン	2人	がん患者 ・家族、 市民	100万人	

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)
	該当なし				